



文部科学省 令和6(2024)年度ユネスコ未来共創プラットフォーム事業

第16回ユネスコスクール全国大会 開催要項

1. 大会概要

ユネスコスクール・ネットワークの活性化と活動の深化に資する情報収集・共有の促進を図るため、ユネスコスクール教職員ら教育関係者を主な対象とした「ユネスコスクール全国大会」を開催する。広域から多数の参加を得るため、対面・オンラインのハイブリッド形式で実施する。

また、本大会は令和6(2024)年度ユネスコ未来共創プラットフォーム事業における「第3回ユネスコウィーク(UNESCO WEEK 2024/25)」(2024年11月25日~12月1日)の一環として位置付けて実施し、国内ユネスコ活動関係者間の連携を促進する。

※これまでの大会については下記サイトを参照：

第1~14回：[ユネスコスクール全国大会 ESD 研究大会 | NPO 法人 日本持続発展教育\(ESD\)推進フォーラム \(jp-esd.org\)](https://www.jp-esd.org/)

第15回：[UNESCO WEEK 2024 特設ページ \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp/unescoweeke2024/)

2. 目的

ユネスコスクールの意義・役割や国内外のユネスコスクールをめぐる動向を周知するとともに、優良事例の共有や関係者間の交流を通じて、各校の活動の質の向上とネットワーク強化を図る。

また、本大会を「第3回ユネスコウィーク(UNESCO WEEK 2024/25)」の一環として開催することで、より幅広い層にユネスコスクールの取組に対する関心・理解を促すと同時に、ユネスコスクールと他のユネスコ活動関係者やユースとの連携・協働の可能性を見出し、ユネスコ未来共創プラットフォームの活性化に寄与することを目指す。

3. 大会テーマ

『社会に開かれたユネスコスクール —多様性と共生の未来への貢献—』

地域から世界へつながる学びを展開するために、ユネスコスクール・ネットワーク活用の意義を再確認した前回大会をふまえ、本大会ではインクルージョンや異文化理解を軸に、「社会に開かれた学校」としてのユネスコスクールの学びを考える。異なる文化

やバックグラウンドを持つ人々が共に学び、共に未来を築く社会の実現に向けて、世界につながるユネスコスクールとしての貢献のあり方検討する。

4. 日程・場所

日時 2024年11月30日(土) 10:00~18:00

場所 対面会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 レセプションホール

(〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1)

オンライン： 参加登録された方へ Zoom リンクをお送りします。

5. 対象者

ユネスコスクール関係者（教職員、児童生徒）、一般幼小中高等学校等教員、教育行政関係者（教育委員会等）、教育研究等関係者（大学、研究所等）、教員志望者（教職課程の学生等）、ユネスコ活動関係者など

その他、SDGs 達成に向けた人材育成や ESD に関心のあるステークホルダー（企業、報道関係者、NPO・NGO 等）

6. 参加申込

参加費： 無料

期間： 10月16日(水)～開催日当日

※ 対面会場は定員に達し次第締め切りとなります。早めにお申し込みください。(先着300名まで)

方法： 特設サイト上のオンラインフォームより登録

<https://unesco-sdgs.mext.go.jp/unesco-week-03>



7. 当日プログラム

時間		内容
9:30-10:00	30分	受付/入室
10:00-11:45	105分	全体会① - オープニング - 基調講演 サヘル・ローズ（俳優、タレント）

		 <p>イラン出身。7歳までイランの児童養護施設で過ごし、8歳で来日。舞台『恭しき娼婦』では主演をつとめ、主演映画『冷たい床』ではミラノ国際映画祭をはじめとする様々な映画祭にて賞を受賞。映画・舞台の出演だけでなく、近年では映画監督などマルチに活躍し、表現者として活動の幅を広げている。2024年には自身が監督を務めた「花束」が公開された。芸能活動以外にも、個人で国内外問わず支援活動を続け、2020年にはアメリカで人権活動家賞も受賞。</p> <ul style="list-style-type: none"> - パネルディスカッション モデレーター：ASPUnivNet 東海大学 岩本泰 ユネスコスクール生徒、ユースなどが登壇し、大会テーマについて議論します。 - ポスターセッション PR タイム
11:45-13:00	75分	休憩・移動
13:00-13:45	45分	<p>ポスターセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> - 希望するユネスコスクール加盟校、キャンディデート校、チャレンジ期間中の学校等 - ユネスコ活動関係者等
14:00-16:00	120分	<p>分科会</p> <p>教員や生徒、関連団体向けの多様な分科会を予定しています。分科会のテーマや実施内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 第1分科会（ハイブリッド） 「持続可能なESDの取組のための外部支援の活用に向けて —ASPUnivNet × ESD活動支援センター × ESDコンソーシアム等による学校支援の構築—」 運営担当：ASPUnivNet - 第2分科会（ハイブリッド） 「集まれ！ユース！！ —共生社会の実現に向けた生徒向けワークショップ—」 運営担当：ACCU 国際教育交流部 - 第3分科会（対面のみ） 「社会との相互作用を通して創る探究の学び —「できない理由」から「できる方法」を若手教員と考えるワークショップ—」

		<p>運営担当：ESD 日本ユース／(公財)五井平和財団</p> <ul style="list-style-type: none"> - 第4分科会 (ハイブリッド) <p>「ESD が拓く社会 —ESD 大賞がもたらすもの 受賞校の事例から—」</p> <p>運営担当：NPO 法人 日本持続発展教育 (ESD) 推進フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> - 第5分科会 (ハイブリッド) <p>「国際交流・国際協働学習を創造できる教職員 —NEXT GIGA を活かして—」</p> <p>運営担当：ESD 実践者・ユネスコスクール教員等</p> <ul style="list-style-type: none"> - 第6分科会 (ハイブリッド) <p>「—Act locally— 学校と地域をつないだ ESD 展開を一緒に考えましょう！」</p> <p>運営担当：ESD 実践者・ユネスコスクール教員等</p>
16:00-16:30	30分	休憩・移動
16:30-17:20	50分	<p>全体会②</p> <ul style="list-style-type: none"> - 分科会報告及び総括 <p>進行：ASPUnivNet 奈良教育大学 及川幸彦 各分科会代表者</p> <ul style="list-style-type: none"> - クロージング
17:20-18:00	40分	<p>会場開放</p> <ul style="list-style-type: none"> - 相談コーナー - 参加者同士の交流

※ 第15回 ESD 大賞授賞式も開催予定です。

※ 内容は随時更新いたします。

※ スケジュールは変更の可能性があります。

※ 昼食は提供されません。各自ご持参または施設内や近隣の飲食店等をご利用くださいますようお願いいたします。

8. 実施体制

【主催】

文部科学省

日本ユネスコ国内委員会

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)



文部科学省



【共催】

国連教育科学文化機関（UNESCO）



【協力】

ASPUnivNet（ユネスコスクール支援大学間ネットワーク）

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟



ASPUnivNet



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

9. 問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU） 教育協力部

担当： 藤本、浅野

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

電話 03-5577-2852 / FAX 03-5577-2854

Email webmaster@accu.or.jp